

第6回伊豆市教育振興審議会会議録

開催日時 平成30年5月11日（金）午後7時15分～午後9時00分

開催場所 伊豆市役所 別館 2F 大会議室

出席委員 菊地篤子会長、勝呂義衛副会長、鈴木和仁委員、鈴木浩二委員、金子歩美委員、石井美香委員、井澤彩香委員、藤江康彦臨時委員、菊池之利臨時委員【9名】

欠席委員 澤木育子委員、鈴木洋一委員、原勝也委員、小笠原茂委員、鈴木千秋委員【5名】

事務局 西井教育長、金刺教育部長、菊地統括監、小塚課長、工藤指導主事、梅原学校教育専門員、鈴木主任

1 開会

ただいまより第6回伊豆市教育振興審議会を開会いたします。

2 会長挨拶

3月から意見を聞く会が続いている。今回と次回は、委員の意見を聞くということで非公開で行う。非公開ではあるが、ここで出た意見は名前を伏せてホームページで公開するので、ご了承ください。

3 確認・報告事項

事務局

1月以降の開催経過を資料（伊豆市教育振興審議会の開催経過と今後のスケジュール案）に基づき説明。

事務局

資料4は小学校区で開催した意見を聞く会に参加した後のアンケート及びFAXでの意見。

資料3は6小学校区での意見を聞く会での意見。多い会場でも12名、少ないところでは6名の参加。同じ方が何回も参加されている。アンケートの感想の中で一番多かったのが、「こんな人数しか参加しなくて残念だ」ということ。これでいいのかということになるが、これが現状である。中伊豆と天城については自分たちの学校がなくなって、修善寺の方に行くという考えなので、天城地区のその他の部分に多くの意見が出ている。小さい学校で困ったことが書いてあった。

資料2は資料3、資料4をまとめたもの。統合したときの中規模校の長所。学力面では競争して、切磋琢磨できることに興味を持っている方が多かった。専門の教科の

先生がいる。中学校で免許を持っていない教科を教える先生がいないといいなという方も多かった。中規模校の長所は小規模校の短所の裏返しと考えている。一方、小規模校の長所は、小さい学校で細かいところまでみってくれる、こどもが伸び伸びとできるなどと書かれていた。人間関係づくりについての意見は多かった。中規模校の長所としては、いろいろな人と混じりあえる、コミュニケーション能力が付く、高校になった時に友達づくりに困らないという意見があった。小さい学校から高校に行くと混じりあえなくて不登校になったりする。小規模校の長所としては、仲良し、友達どうし安心できる。なかいずこども園の保護者からは、中学校に行った時に4クラスも5クラスもあると、中学校で既に心配だという意見があった。通学面では、中規模校となったときの心配の意見が多かった。時間もかかるし、危険も伴う。帰りも暗くなり心配であるというのは今でもある。修善寺、天城、中伊豆で中学校を共有するので、通学範囲が広がるという問題があり、それに対する手当てを是非してもらいたい。どちらかという、全員に手当てをすれば賛成もするという意見も多かった。その中で、平日はいいが土日の部活の時に土日運行のバスがない。学校が午前中で終わって帰る時にもバスがないので、送迎についてどうなのかという心配がある。部活動について小規模校で外部委託をしたらどうかということをやっているが限界はあると感じる。その他のところではPTA役員など一人一人の負担が大きい。小学校区の意見では、統合した場合に駐車場が心配だという意見が気になった。バス通学、自転車通学についても意見があった。中学校のことについてだが、小学校のことも心配して欲しいという意見もいくつかあった。保育園の意見では、中学生本人やその保護者の意見をもっと聞いてもらいたいというのがあった。土肥のように小中一貫校でという意見もあった。なかいず認定こども園では、伊豆市の中学校を出れば日常の英会話ができるなど特色ある学校にしてほしいなどの意見もあった。規模にかかわらず、教育は先生次第、意欲ある先生が集まるような学校にしてほしいという意見もあった。支援学級についてということも書かれていたが、学級はつくられるので話題にしていくことが大切だと思った。

資料1では、委員が出来れば少しでも早く修善寺中学校へ統合をと書かれているが、下の方には教室数も少なく無駄もなく理想的な中学校をと書かれているので、新中学校を造りたいともとらえることができる。委員も統合すべき、天城の方なので通学面を心配している。委員は、新校舎でよりよい教育環境を整えることが子どものためになる。3校が統合し新校舎で学ばせたいという意見。右側の写真は意見を聞く会の様子。

4 協議

(1) より良い中学校の教育環境づくりに向けての意見交換

会長

意見を聞く会に参加した時の感想を伺いたい。

委員

アンケートの結果にもあったが、もっと参加者多いのではないかと期待をして行った

が、10名前後で保護者の関心が低いのか時間帯の設定が悪いのか広報不足なのか原因はわからないが、もう少し保護者の方に来ていただいているいろいろな意見をいただけたらありがたかったと思う。結果を発表していただいたが、予想していた意見が多かった。教育の質を高めてほしいことや、部活動の選択肢を増やしてほしいこと、統合された場合には通学のことなどが心配であることなど、こちらで予想できるような意見が出されたと思った。

委員

こども園に通っている自分達のこどもが中学校になった時のこととなると、想像がつかないのでひとつのような印象があった。時期が早いと思うがという話をしたら頷いている母親が大勢いた。時間をかけてもらってみると、いろいろな意見があったので、時間をかけてもらって、いい意見をいただけたのでいい結果に繋がったのだと思う。

委員

ひとつのようなというのが印象。一番かかわってくるこどもを持つ母親ではあるが、そのような印象を受けた。

委員

伊豆市の現状をわかっていない人が保育園の保護者世代には多い。結婚して伊豆市に来て、こどもを産んでまだ5年以内で自分のこどもを育てるのに手一杯で、将来10年後中学校がどうなるのだろうかということはわからない。ずっと伊豆市に住んでいればわかるかもしれないが、よそから来たりすれば伊豆市の中学校の現状を保育園世代の保護者は知らない人がかなりいると思う。

会長

こども園での参加者は母親が殆どか

委員

父親の参加は片手で収まるほど。

会長

家族の中で意見を纏めて持ってきてくれたら、少し違ったかもしれない。

事務局

修善寺保育園、熊坂こども園、修善寺東こども園の3園は保護者会の時に開催したので、60名くらいの参加があった。会合のついでに15分程度の説明を行ったので、話をよく聞いてもらえた。質問は殆どなかった。その後付箋を持ち帰っていただき、家で相談をして書いてくださいと言って渡し、後日園に置かせてもらった模造紙に貼っていただいた。なかいずこども園とあゆのさととは、そのような機会が設けられなかったので、あゆのさとでは参加者が1人で、あとは迎えに来る保護者へのチラシ配り。なかいずこども園では、2回開催し幼稚部3人、保育部6人の参加で、あとはチラシ配り。付箋は全部持ち帰り、家で書いて貼ってくださいという形。

会長

親一人の意見というよりも家族の意見ととらえてもいいのか。

事務局

そのようなつもりでお願いをした。

会長

先に、本日欠席の3名の委員からご意見をいただいている。大きく考えて現状のまま今の場所で3校を残すか、統合するかであるが、統合する場合の場所は今は考えなくていいということで、あくまでも中学校の教育環境としてどちらが望ましいかということで考えていただきたい。義務教育学校、小中一貫校などのスタイルは私たちは勉強していないので、そこを議題にあげることは今の段階では無理と思うので、今まで学んできた中でのご意見をいただきたい。どちらかの意見かということと、その場合にどうしてそう思ったのかということと、課題としてもっとクリアにしなければいけない、精査する必要があるなどということも含めてご意見をいただけるとありがたい。

委員

統合すべきであると思う。6年生で家庭訪問を行ったときに中伊豆中でなくて、修善寺中に行かせたいという保護者がいる。指定校変更にあてはまる理由がないが修善寺中学校に行きたいと言う。実際に小学校6年生になったときにそのように考えることはある。こども園の段階で実感があるかということとおそらくないと思う。でもその時には一緒のなっていないので、その時では遅いということになるのではないかと思う。修善寺中学校では、周りの道路環境、駐車場などを考えると無理ではないか。便利ではない。通学路も危険である。天城、中伊豆の通学の問題がある。中伊豆の意見を聞く会でもスクールバスが出たが、そうすることによるデメリットの大きさも考えないといけない。中伊豆地区で全部スクールバスにした場合、1台ではいけない。往復するとしても、少なくとも3台は必要になる。スクールバスにすると地域の人が乗れなくなる。そうすると通常の路線バスがなくなることになる。高齢者が出かけられない状況となることも考えられる。修善寺に学校を建てて、そこへスクールバスで通わせるとなると何台バスを出してもらわないとならないか。それにより市民の足がなくなっていく。小規模校の長所の面で個に応じた指導ができる、目が行き届くとあるが本当だろうか。学校の教員数には定数があり、こどもの人数が少なれば教員数も少ない。大きい学校で教員数が多ければ、目が行き届くのかということとそうでもないと思うが、小さい学校であれば目が行き届くというのは職員定数から見ると反するのではないかと思う。天城中、中伊豆中の校長先生が目が行き届くと言っていたが、実際には定数でなくて、加配が入っている。県や市で加配をしてくれているので、多くの人数で見ることが出来ている。

会長

課題はあるが統合した方がいいのではないかということ。

委員

そうですね。専門の先生に教わるのが一番だと思います。

委員

統合すべきだとは思いますが。理由としては、意見を聞く会でも出ていたが競争がある中の方がこどもにとってはその後のことを考えるといいのかなと思う。通学のことを気になる。今の話のながれでは、修善寺みたいになっているが、意見を聞く会でも修善寺に来るのだからみたいな話をしている人もかなりいた。昨年度までの話を引きずって、それが白紙になっているということすらわからない。修善寺に統合するのでしょという

ことありきで話にきているので、もし天城に校舎ができるのであればどう思うか聞いてみたところ答えはなかった。修善寺になると思っている。その辺りをゼロにしきれなかったのかと思う。どの地区の人も修善寺になると思っている。高校は好きで選んで行くので、高校生になったら、沼津であろうがどこであろうが通うし通わせるが、義務教育という国が決めている教育の中であまりにも負担がある人となない人がいるというのは、ある程度平等性を持った方がいい。スクールバスに関しては委員の言うような問題もあるし、スクールバス横転で負傷したような事故も起きている。安全面が確保できるのであれば、保護者はいたし方ないと思うかもしれない。リスクを侵してでも教育環境がいい方にといいことが、よくみんなに説明出来るのであれば悪いことではないと思う。免外にならないためにも、スピード感を持ってやってもらいたい。いざ統合した時に免外になるようであれば、何をやってたのかということになる。委員も少しでも早くと言っている。修善寺中に統合というのは極端な話ではあるが、今後の生徒数一覧をみて、免外がないことがいい教育だといわれる一つであると思うが、統合した結果免外があってはよくないので、統合するのであればスピード感を持ってやっていただきたいと思う。

会長

統合すべきであるが、課題は通学面。同じ義務教育を受けるのに、家庭によって、地域によって差があるのをどのように解消するのかということ市の方で考えていただければ、それをきちんと説明していただければということが条件。

委員

現在、こどもが天城中学校まで1. 数キロ通っているが、雨が降ったり、寝坊したりすると車で送迎という感じになってしまう。そうすると駐車場が必要という話になる。

会長

部活動がこれからどのような形態に変わっていくかがわからない状況。国全体で部活動の縮小の傾向があるが、静岡県はどうなっているのかと思って調べてみた。部活動は今の状況ですとこのままということはないと思われる。教育の一環ではあるが、それをまん中には置けない。

委員

それは教育者の意見であって、保護者は部活動がすごく気になっている。前にも言ったがそこを理解できているとそのような話にはならない。部活動を理由に指定校を変えたいこどもがある。そこを蔑ろにしてそれは違うというとな否定される。

会長

答申を出すときに部活動についても検討をしたということを考えに入れた答申であるということをしなければいけない。

委員

今後 10 年間の伊豆市の中学校の生徒数の減少ということを見ると、小規模校化されて、免外の先生が多くなる。出来るだけ専門の免許を持った先生に教えてもらうということが質の高い教育を保障することになると考えると、統合しかないと考えている。また、中学校校長先生の話にもあったが3中学校が老朽化して、中伊豆中学校はすぐいで

も改修工事をしたいということも聞いたので、そのような経費の面でも今後のことを考えると早く統合するなら統合する、或いは残すなら残すで考えていかないといけない。私の考えは統合した方がいいと考えている。小規模校化すると部活動の選択肢が狭まり、やりたい部活が出来ないので他校へ行ってしまうという流れができるので、そのようなことを少しでも減らすためには統合した方がいいと考えている。問題点としては、先ほどから出ている通学面や遠くなるので登下校の安全面の確保などいろいろな問題が出てくるが、まず質の高い教育をこどもたちに提供するということを考えると、統合することが一番いいのではないかと思っている。

委員

地域、保護者の意見を見るかぎりでは統合が望ましい。中規模校で教員定数を確保してこそ、質の高い教育になる。個に応じる指導は、ある程度教員数が保障されてこそできることだと思う。こどもの数が少なくても教員の数が少なければ、こどもと向き合う時間以外のことに時間を取られてしまうということを考えると、個に応じるということは必ずしもできない。授業、学習の充実のことを考えると、専門の先生が教えることが必要である。保護者の方の中に人数が多いから競争がというのがあるが、競争心をあおっていると伝わるので、そのようなイメージはない方がいい。それよりも、多様な意見が出てきてその中でどう折り合いをつけていくかとか、小規模では経験できないようなことがどう経験できるとかいう方が、質の高まりという面でいいのではないか。保護者の方の大きい不安は通学の問題。スクールバスを運行するのか、もう少し既存の公共交通の会社との交渉で何とか違う方法で対応するのか、という話になる。通学の方法についてきちんとした確証を得られた上で、統合するなら統合するということになるのかなと思う。宙ぶらりんの状態ですすめていくと、反対意見も出てくる。潜在的な問題であり、具体的に場所が決まった段階ですすめていかななくてはならない。地域から学校が少なくなってしまうということが地域の人口減少に拍車をかけるということは実際に起こり得るし不安を持ってしまう。小学校は旧町にそれぞれ残して小学校教育を充実させ、小学校がきちんと町に根ざして機能していくことを目指して、そのうえで小中一貫校、施設をどうするのかでなく、天城、中伊豆、修善寺地区と新中学校がきちんと連携を取り、接続をうまくやっていくということを答申にうたってもいいと思う。こども園の保護者からそのような話もあるし、小学校の教育をどうするのかというのも近い話である。そうなってくると全体的に教育に関する関心が高まってくる。審議会では中学校をどうするかだけであるが、意見を聞く会の参加の状況を自然体として教育に関する関心が高まっていくといい。何かをやるといっても参加をしないが、何かを始めると意見が出てくるという状況になる。そのあたりをいかに学校教育に関心を持ってもらえるか、もう少し自然体の教育を総合的な取り組みとして位置づけていただければ答申に盛りこめるのではないか。小学校の教育内容の充実と新中学校の繋がりとを重点を据えて、通学の面での保障が整えば、今の伊豆市の中学校の環境としては適当なのではないか。

会長

地域の不安があまり意見として出ていなかったもので、もう少し拾っていく必要がある。

委員

宮城県の4つの中学校が統合した中学校を視察した。山の中の学校で統合するのに20年かかったと言っていた。地域の方々のいろいろな思いがあり、たまたま市町の合併があったので、それを上手く使って一気にやったということであった。通学面で問題があったので、バスを4台購入し運転する職員も採用した。費用がかなりかかっている。教育のことには誰でもわりと意見を活発に出せるが、免外などというような専門用語を使うと一般の人には分からない。それと同じように対象の保護者や地域の人に理解をしてもらうのは難しいが、ある程度理解してもらわないと、私たちが統合させたいということを理解してもらえないので、説明が必要なのではないかということを感じた。私も統合すべきだと思う。10年後をみると1つに統合すると14学級。14学級であると美術、音楽などは免外ではやってくれない。専門の先生でそれなりの経験がある人でないと、頼む方も頼んでもやってくれないし、受ける方の子どもたちがかわいそう。14学級あればなんとか専門の先生を確保できると思う。その点は統合することによってかなり解消するのではないかと思う。学校設備では、どこの地区もトイレを改修している。家では洋式なのに学校では和式、家ではドライなのに学校ではウェットで、そのような面で学校と家との差をつけるべきではなく、同じ様に生活できるようにすればいいのではないかと感じた。そのようなことで3つの学校に費用をかけるよりも、1つの学校にした方が予算的にもいい。土肥小中一貫校はICT、タブレットや電子黒板を入れて授業をやっているが、それも専門的な人が入ってやった方が充実するのではないかと思う。教材費、備品費も3つより1つの方が有効に使える。有効活用するのに1つになった方が充実する。一番の問題は通学。バスを待つときに問題が起きたりするので様子を見にいったりしたが、やればきちんと出来ると思った。昼に帰すとバスがない。そのような面も統合したら充実するのではないかと思う。

委員

自分がこの委員でなかったら、意見を聞く会に出なかったと思う。中伊豆で対象の子どもがいるので自分の身にかかることなので、中学校が白紙になってどうになってしまうのかということは話題に出ていて個々に不安に思っていることはあると思うが、いざとなると参加者が少ないことを目の当たりにして市全体の問題であるという部分なので、もっと市民の人に知ってもらいたいと思う。私はこの（審議）会に出させてもらったので、いろいろな勉強をさせていただいたので真剣に考えなくてはいけないことであると思ったが、皆さんは継続的にもっと情報が欲しいかなと思う。例えば広報の中に毎回中学校の学級新聞のような物を作って市民の目に触れさせるなどして、皆さんに考えてもらいたいと思う。自分の子どもは大きくなってしまったので関係ないという人もいるかも知れないが、その人たちでも子どもが少なくなって自分たちの老後をささえてくれるのは誰かということになる。やはり子どもたちを伊豆市内でちゃんとした教育を受けさせて育てていくということをして市全体の問題として考えて欲しい。人数がどんどん減っていく中で今のままではいけないので統合すべきであると思う。広い市なので親として一番心配なのは通学。中伊豆の通学区の中でも土日にはバスがないので送迎したりしているので、1つになったらもっと大変だと思う。天城や中伊豆の奥の方に住んでいる人は

とても不安だと思う。スクールバスの問題もスクールバスはどこまでなのか、それを越える人はどうなるのかなど、そのような問題も出てくる。中学校でも学童のように学校が終わってからバスの時間まで安全に居られるような場所があればと思うし、なにかいずこども園の保護者の意見にあったように特色のある教育ができればいいと思う。他に聞いたことのないような特徴、教育、入れたくなるような中学校が出来ればいいと思う。人間関係の面ではこども園から中学校までずっと同じメンバーで、高校に行って今までいた枠の中から外れて大丈夫かと心配になる。やはりある程度の人数の中で中学校生活を送るのは大事だと思う。

会長

特徴的な学校という中にそのようなこともあるのではないかという意見としても考えられる。

委員

この委員になって意見を言うというのはとても苦手であったが、いろいろ勉強させてもらって、いろいろと知ることが出来て委員になって良かったと思った。意見交換会に出た知り合いから人数が少ないことがあって、最初は意見が言いづらかったことがあったが、出たことによりいろいろな世代や地域の方の意見を聞けたり、現状が知れたりしてとても良かったということを知った。興味を示していない保護者も、もう少し情報がしっかりと伝われば興味を示してもらえるのではないかと思う。いろいろな意見を聞いて、統合してもそんなに大きな中学校ではないので、小規模と中規模の両方のいいところ取りができるのではないかと思うので3校を統合する意見に賛成。そうすると通学の問題。中伊豆小学校区の知り合いから、バスの事でいろいろともめたりして大変だったと聞いた。3校を統合することになった場合には、バスの事はしっかりと煮詰めて話を進めてもらいたいという話があって、自分が中学校の時には徒歩、スクールバス、自転車があった。私は自転車通学で自転車で20分くらいの距離であったが、遠くてもそれなりに楽しんで通ったので、通学は楽しかった。遠いのであれば遠いなりにこどもたちは順応して楽しく通ってくれると思うし、逆に少ないと、こどもが現在小学校1年生で1年生は帰る時間が早いので、同じ方向に帰る子が誰もおらず学校から家まで一人で帰ってくる。最近はいろいろな事件があったりするので、一人で家まで帰ってくるのが、交通量が少ないところが通学路になっているので、それがいいのか悪いのかというところがある。逆に交通量があった方が人目につくのかと思ったりなどする。そのような心配な面があるので、統合して遠いけれど一緒に帰る人が何人かいるという安心面もでてくるのではないか。

委員

私もこの会に出なければ、意見を聞く会には自分から出たような気は正直しません。私たち世代が一番これから直面していく世代であって、この会に何ヶ月も出てやっとここまで得た知識をお母さんたちに短い時間で伝えるということはすごく大変なことだと思う。毎年友達をつくらなければいけないとか、すごく大きな規模になると思っているとか、実際これからなっていく姿を理解出来ている人はまだ少ない。大きいというマンモス校を想像している人が多いと思う。これからの本当の姿を皆さんに知っていただ

かないままいってしまうのではないかと不安がある。和式のトイレを使っているとか、雨漏りがしているなどの現状は、中学校の保護者でないと分からない。私も学校を見学させてもらって初めて知った。難しいことであると思うが今の状況とこれから実際になっていく規模などをみんなに知らせることが出来たら、市民の方が気が付く時があると思う。良いことも悪いことも言い出す時があると思う。それをもう少し今より早いペースにもっていけるような情報の流し方にもっていったらいいと思う。今の最新の中学校の設備、校舎がどのようなものか想像がつかないが、綺麗な校舎に通えるというだけでも行きたくなるとか、行くのが嫌だと思っている子も行けるのではないかと思った。天城から高校に行って田舎感を感じた。修善寺の子が都会の子という感じ。高校に出て田舎と感じるよりは少しずつ出ていった方が高校に出てのショックはなくなるのではないかと思うと、3校統合した方がいいのではないかと思う。そうなるとう距離の問題があると思うが、こどもたちに自分の学校は通いにくかったという感想を持たせたくない。学校へ行けば楽しいが行くまでが苦痛だったなどという感想を持たせたくない。そうなるとう今後伊豆市で生活して子育てしていく方が減ってしまうので、親もこどもも地域の方にとっても交通難民がなくなるような、他の地域ではよくても伊豆市では合わないというやり方もあると思う。伊豆市の中で少しでも不満や不安のないよう案があったらいいと思う。

会長

全員と同じことで心配なのが通学のことと安全面ではないかと思う。小規模だから目が行き届いているということがあったが、人数が大きくなって細分化することはその中では出来る。そのような配慮の仕方は出来るのではないかと思う。バラバラになっているところをまとめるのはすごく大変であるが、大きいところを区分けするのは可能であると考えていくと、小規模の良さは中規模になった時にフォローできるのではないかと考えるので、一つにまとめるべきだと思う。人間関係の中で高校生デビューという話があったが、大学に行くと大学デビューになる。どこに行ってもデビューはしなければいけなくて、それがいきなりではなくて段階が必要だと考えると、中学校で集団が増えるのが心配という方もいるが、それがなくていきなり15歳でデビューとなるのはやはり負担で、そこで人生を決めてしまうくらい負担になることもあると思う。義務教育の中で保護者がちゃんと支援が出来る、学校も一緒に支援が出来るのが義務教育だと思う。高校では、行かなくなったらおしまい退学になってしまう。中学校の場合は、学校も家庭も一緒に支援が出来る。そこに一つ負荷があるが、こどもの将来のことを考えるとステップアップのための上下関係の幅を広げる協同という作業、主体性を養う、社会性を養う、協同性を養うという意味では人の範囲が広がる経験を段階別にやってほしいという願いがある。他のことについては皆さんと考え方が一緒だと思う。備品のことなど、お金のことは今回は考えなくていいといわれている。備品のことなどは、中学校を回った際に今の中学生も大事にしましようという意見もあったので、大きい枠は変えることが出来なくても細かいもののフォローは出来て、例えば統合が5年後となった場合も3校が同じ物を買ったとしてもそれを集めれば今新しい物でいらなくなるとか同じように使えるとか、どこにどのようにお金を使うかは頭の使い方ではないか。中学生

の意見を聞くであるとか交通のことは教育委員会の方に勉強してもらって、いろいろな地域でいろいろなことをやっているのだから情報収集をすれば何か活路があるのではないかと。日本全国同じような問題を抱えていると思う。ある地域では、バスを降りてから更に個人タクシーを予約制を使って帰宅するというようなやり方をしている。いろいろなやり方があるので、伊豆市でのやり方を見つけるのは不可能ではない。

委員

地域は学校がなくなると衰退するというが、反対に人が少なくなったから学校が一緒になるのは仕方がないと思う。地域に小さい学校を残しておくことが、人が戻ってくることになるのかという思いがある。現実的に自分の周りの人たちも、こどもたちが成人して家庭をもって戻ってくるかというとは戻ってこない。学校がなくなったから地域が小さくなるのではなく、学校をきちんと整えなければなくなっていくのではないかと思う。小さい学校を残すのではなく、伊豆市にあればこのような学校に通えるという条件を整える方が、地域が衰退しない方向に近づけるのではないかと。議員は他の所で成功しているのかと言うが、他の所で成功したものを伊豆市にもって来て成功させるのではなく、伊豆市で新しいことをやって成功させようなのではないかと思う。伊豆市だから出来る。他のところではなく伊豆市が最初とうことでやっていかないと、衰退していくのであろうと思う。

委員

各中学校の今まで脈々と培ってきた学校文化を一つにしてやろうということは出来ないと思う。やろうとするのであれば、どこの学校のものも全部なしにして新しいものを作っていかないと。話をきいていると、自分の地区の文化をもとにして話をしているというのをすごく感じた。学校にしても各学校の特徴がある。統合したらうちの学校のこういうことを地域の方がやってもらいたいというが、統合したら大変だと思う。どのような学校にするのかをきちんとしていかないと、意見を取り入れてもらえないなどということになるので、ある程度合意の上での統合が必要であると思う。

会長

そこが小学校との接続になるのかと思う。地域を充実させるのには、残っている小学校が充実する。そこで総合学習や地域学習をしっかりとやって、そこに地域の方が参加していただければ、中学校はいつってしまったけれど小学校でしこもうということになる。そのような意識が芽生えてきたら嬉しい。地域に残る学校の充実を、しっかりビジョンとしてもった中での次のステップをしっかりと説明できたらいいと思う。

委員

不登校になってしまうと、学校が遠い。バスに乗らないと行けないとなると、そのまま行きづらくなってしまふ。不登校が出ない中学校であればいいが、現実にはそうはいかない。そのようなことを考えた時に、地域の中に逃げ場をつくるのが大切。地域の中に居場所があるのは大事であるし、登校が出来なくなってしまったこどもがバスに乗らなくても行ける。例えば小学校の距離であったら行ける。小学校との接続ということ。地域は地域で小学校がきちんとあって、中学校が統合したから地域からなくなったというのではなく、地域の概念を拡大し、中学校がどこかにいっても繋がっているという意

識を持ってもらう。

会長

中学校3校を寄せ集めただけであると、そのまま3色混ざらない。混ぜるのではなく違う色にするという意識の方がいいのでは。

委員

土肥の小中一貫校をやるときに、ただ小学校と中学校が一緒になったというのではなく、やはり9年間でどのような教育を、ということで先生方に委員会を開いてもらって検討してもらい、少しは効果が出ていると思う。ただくっつけるだけで学校が成り立っているのは効果がない。

会長

3つの学校の良さを活かすという言い方は少し危険な言い方かもしれない。3つの良さを取り入れた新たな一つの集団を作るという意識で取り組んで欲しいという感じになってくる。

委員

新しい特徴的な教育をするのであれば新しい視点での学校づくりをしていかないと、特徴的な教育はできないのではないか。スクラップ&ビルドと言っても、なかなかスクラップが出来ない。

会長

このまま答申を出す方向に向けてであるが、あまぎのこども園の意見を入れた中でさらにもう一つ次回も進めていきたいと思う。もう一つ議題として挙げたかった「今後の意見集約に関して」であるが、私たちが出す答申の時期が本当は5月末であったが出せないで6月の中旬に出さざるえない状況になると思う。それより前に意見をいただく機会はないので、その先で見通しが出了た後で市民の意見をどういうふうに聞いていくかに対しての注文は答申で示すことになっていくと思う。次回が5月25日の予定になっていて、ここでは答申をどのようにしていくかという具体的な内容になってきて、6月の中旬には決定になるので、今日の個人個人の意見もまとめていただき、言い忘れたことなどありましたら添付したアンケートに記載して提出いただきたい。小学校の保護者が目の前の問題として大きくなっていくことがあるので、小学校の保護者に意見を聞くというより説明をするということが必要になってくると思う。

委員

修善寺中のようにグラウンドが分かれるような状況はなくした方がいい。緊急の場合に直ぐにいけない。修善寺中の給食は自校給食であったので美味しかった。給食が美味しいので、不登校のこどもも給食を食べに学校に行くということもあった。

会長

食育の問題もこれだけ世の中で触れられているので、そこも一つ観点にしても間違いではない。意見を伺っていない委員には事務局で確認していただきたい。今のところ、全員一つにまとめたいという意見でまとまっていると思う。

5 その他

事務局

次回は2週間後の5月25日（金）19時15分から別館会議室にて行います。

6 閉会 午後9時00分